

# トツプの先見

④ スマートフォン

## モバイル環境の急成長で生まれるビジネスの好機

高機能携帯電話(スマートフォン)の普及や、高速・大容量通信のインフラの整備で、モバイル関連ビジネスの機会が広がっている。こうした好機を、関連企業のトツプはどう生かすのか。

エンターモーション



島田大介社長

### ビジネス機会は海外にも

高い機能を持つモバイルサイトが求められ、技術を持たない企業は淘汰

(とつた)されるだろう。当社ではスマートフォンに対応したクラウド型(サーバー側で動作する)モバイルCMS(コンテンツ管理システム)サービスを低価格で始めた。スマートフォン対応で海外展開も見えた。海外では同様のCMSは、ほとんどないと聞く。さらに力を入れていきたい。

ネプロアイティ



金井 孟社長

### OSを選ばないコンテンツ制作

「セマンティックWeb(情報内容を自動判別する技術)」を活用した

意味検索エンジンサービスを9月以降、本格的に提供する予定だ。スマートフォンでコンテンツの台頭からOS(基本ソフト)依存に変わりつつある。OSを選ばない展開が重要だ。韓国市場に上場しているが、メディアや広告、コンテンツを多重展開する大切さを感じる。

アイモバイル



田中俊彦社長

### 高速モバイルでECなど伸びる

モバイルでも、高速で大容量通信が一般化すれば、1人当たりのモバイル

ルサイト閲覧回数が飛躍的に増える。そうなれば、EC(電子商取引)サイトなど容量が大きいサイトの利用が促され、結果として売り上げを伸ばすだろう。広告費も同時に増えると見ている。スマートフォンへの対応など、あらゆるプラットフォームホームで広告が掲載できるようにしたい。

サイフリッジ



水口 翼社長

### 飲食店で地理情報サービス実験

iPhone( 아이폰)、多機能携帯端末「iPad(アイパッド)」で動作するソーシャルメディアや位置・地理情報メディアに興味がある。そこで実験の場としてイタリアンの料理店を始めた。半径500メートル以内にいる人から、ツイッターでフォロー(自動受信登録)される仕掛けを施し、経過を見ている。課題を解決するツールとしての携帯端末の可能性はまだ尽きない。